
月に天ぶら

山田スウェル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月に天ぷら

【Nコード】

N3326Z

【作者名】

山田スウェル

【あらすじ】

一度は書かされた将来についての作文。思えば僕は野球選手になりたかった。あれから何年か経ち、僕は大人になり初恋の人は自殺した。そして彼女には娘が居たらしい。思春期、彼女を思い何度か果てたからか、父親が定かでないと噂される少女におかしな父性を覚えてしまう。

まるで、あの日の延長上に生きている少女は僕に言う。

一緒に死んで下さい。

誰でも一度くらい、就きたい職業についての作文を書かされただろう。僕の頃は夢を与えるとされる世界に憧れる一方で、手堅く公務員を目指す奴等も多かった。生きていれば今年で31歳になる牧野がなりたかったのも、教師だった。

今日、僕は牧野の飛び降りたホームに居る。同窓会に出席するのを口実に帰ってきたんだ。

思えば二年振りになるうか。彼女の存在を知ってから足は遠のくばかりで、母やチ口の死でさえも僕を動かす事はなかった。

ベンチに座ったまま、煙草を吸うでなく、紅茶も飲みやしない僕を、隣の学生が気持ち悪い男だと打っている。その感覚は正しい。

僕は気持ち悪い。

有給休暇を使ってまで、ここに戻るのをミキがそう言った。ミキからしたら墮胎手術は付き添ってくれなかったのに、友達が居ない同窓会へ出席するのが気持ち悪いんだ。確かに。その感覚も正しい。

ただひとつ訂正する。親しい友人が居ないだけ、だ。クラスメイ卜等と会話を弾ませる自信はある。例えば久しぶりに見た街並みの話をしよう。随分と整備され、駅前通りは賑やかになった。商業科

出身の何人かはそのシヨッピングセンターで働いているんじゃないか。屋上に繋がれた気球が風に煽られている。

それに母校の制服も変わった様だ。オシャレになったかと思われたら微妙なもの、隣の彼のみたいな着こなしは出来ないと思う。だって僕は地味な学生だったから。

ここでやっと煙草をくわえ、ボストンバッグに手を突っ込むとライダーを引きずり出す。とりあえず3日分の下着を放り込んできた実家では未だに二層式の洗濯機が動いている、なんて都市伝説めいた事を言う父だが、本気で僕が帰ってくるとは考えていない。母が亡くなって、より僕らは距離感を掴めなくなってしまった。たぶん、父と僕の間には川が流れているのだ。この川は桃は流れて来ないが、サワガニが生息出来るほどキレイな水が流れる。

この話をするとミキは露骨に嫌な顔を浮かべ、酔っているのかって聞く。父と僕の間には清流があるなら、僕とミキを隔てるのはアルコール。いつだって酔っているのはミキなのに、納得できない事があれば僕と酒の所為になってしまう。

と、携帯電話を開けばミキからの着信が数件ある。駅に着いた事、待ち合わせの相手が来ない旨をメールで告げ、それから電源を落とす。

こうしている間、何本か行き交い、男子校生は居なくなり、また知らない誰かが隣に座る。乗り換え路線などない、登りと下りしかない小さな駅だが、何故か下車して座る。見れば、次に隣へ座った少女は椅子の上で体育座りをし、空を仰いでいた。

ホームは簡素な作りで、中央に駅名を書いた看板とベンチ、灰皿

が設置されているのみ。雨風凌ぐ覆いがないのだから、分煙の概念など存在しない。何かと禁煙を強いられる都市部と違い、田舎は相変わらずこうした部分に寛大だ。けれど、こんなにも緩い景色だつて牧野を飛び降りさせるんだ。

「なあなあ、牧野が死んだつて」

風がもう一度強く吹いた時、あの日の声が聞こえてきた。待ち人の到着に慌てて顔を上げると、車内の彼は僕の隣を見ており、隣の少女が僕を見ていた。視線が妙な絡まり方をしている。

ちりん、ちりん。少女の鞆に付いた鈴が鳴っている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3326z/>

月に天ぷら

2011年12月11日14時48分発行